

① 日常生活の中にある思い込みや偏見について



こんな発言をきいたことは
ありませんか？



女性なのに
社長だって。
すごーい！

ご年配なのに、
IT得意
なんですね。



お父さんと
お母さんに
伝えてね。



そっとしておけば
部落差別は
なくなるのでは？



(外国人に対して)
日本語
お上手ですね。



子どもは、
元気なのが
一番！

若いのに、
礼儀正しいね。



このように人をほめたり、何気ない気持ちで言ったりした言葉が、結果的に、当事者を傷つけてしまうことがあります。このことを「マイクロ・アグレッション(小さな攻撃)」といいます。
相手を傷つけるつもりはなく発した言葉が、結果として相手を傷つけることもあるのです。



言われた人たちの気持ちは
どうでしょう？



自分で選んで
女性に、男性に
生まれたわけ
でもないのに。

うちには
お父さんしか
いないんだ
けどな。



IT企業で
働いています
けど何か？



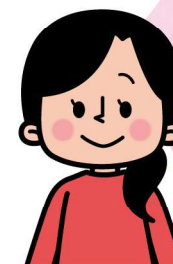
部落差別が
なくならないから、
今でも苦しんで
いるんだけどな。



外国籍だけど、
日本で生まれ
育ったのにな。



この子は
生まれつき運動が
できないんです。
でも、笑顔が
素敵でしょ。



若者はみんな
失礼な人だと
思っている？



ふとした日常の言葉の中で、いつもは「私は差別しない。気にしていない」と思っている、インターネットで見たり、まわりの人からきいたり、あるいは結婚や転居など、自分に関係することがらになると、「気になって」トゲを含んだ言葉になってしまうことがあります。
何気ない気持ちで言った言葉が、知らず知らずのうちに様々な人の心を痛めているかもしれません。発言する前にちょっとだけ考えてみてはどうでしょう。



② 部落差別 (同和問題) について

生まれた場所や住んでいる場所などを理由にして差別することを「部落差別」といい、日本特有の差別です。今でも「差別する」意図を持って、不利になるようなうわさ話を広げたりする人がいます。

部落差別って、昔のことでしょ？

同和地区とかまだあるの？

私は今、悩んでいるんだけどな。

私、そこに住んでいますけど。

そっとしておけば、部落差別はなくなる。

学校で教えるから、部落差別が残っているんでしょ。

部落差別がなくならないから、今でも苦しんでいるんだけどな。

正しく学ぶこと、真実を学ぶことで差別がなくなるはずですよ。

私は差別していませんよ。

差別は「する」「しない」ではなく、「ある」んです。一緒になくしましょう。



さまざまな人たちの思いに気づける自分でいたいなあ。

③ 差別をなくすには

さまざまな差別への思い込みや偏見をなくしましょう。

- 1 発言をする前に、ちょっと一呼吸おいて考えて発言すること
- 2 一番大切なことは、相手の立場を考えて、尊重すること
- 3 そして、学び続けること

部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための取り組み

太宰府市では「太宰府市人権宣言」、「太宰府市部落差別の解消の推進に関する条例」に基づき、差別をなくす取り組みを行っています。思い込みや偏見を少しでもなくすために、ともに学んでみませんか？



- 小・中学校での人権学習
- 人権講座「ひまわり」
- 同和問題啓発強調月間市民講演会
- 男女共同参画市民フォーラム など

※くわしくは裏表紙をご覧ください。

お読みいただいたみなさんへ

太宰府市では、これからも市民のみなさんとともに、部落差別をはじめあらゆる差別をなくす取り組みを行っていきます。

私たち一人ひとりが学び続けることで、思い込みや偏見をなくし、すべての人が安心して過ごせるしあわせなまちをめざしていきましょう。